




## 令和2年度 実施事業の概要

教育事業名:学社共同参画セミナーⅡ
期間 令和3年2月12日(金)～14日(日)
対象及び参加人数:大学生 5名
<p>目的:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員等を志す学生に対し、社会教育に関する演習を実施し、事業の企画・運営・評価を実践的に学ぶ機会を提供する。</li> </ul>
<p>事業概要:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妙高の特色である森・山を活用した自然体験活動を体験し、その基礎技術や指導技術を取得できるようにするとともに、社会教育事業としての企画・運営・評価方法を学べるようにする。 特に、体験による学びの手法を中心に演習し、事業推進の観点を重視し実施する。</li> <li>・ 国立妙高青少年自然の家の活動プログラムを活用し、冬季の雪上活動をとおして自然環境について体感することができるようにする。</li> <li>・ 野外活動等における安全管理について学ぶ。</li> </ul>
<p>成果:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スノーシューハイク、雪中泊を体験することで、実体験をもとにした事業における企画・運営・評価のあり方を学ぶことができた。</li> <li>・ マネージメントの観点からグループワークを実施した。互いの意見を出し合いながら、企画立案をすることで、安全管理を含むマネージメントに必要な視点を学ぶ機会となった。</li> <li>・ 妙高青少年自然の家のフィールドを活用し、自然体験活動の基礎技術と指導技術の習得の場を提供できた。</li> </ul>
  
<p>課題:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上越教育大学の講義である社会教育演習と兼ねて学社共同参画セミナーを行っていたが、近年の履修状況等を踏まえ、来年度は講義を開設しない報告を受けている。それに伴い、学社共同参画セミナーも実施しない方向である。利用者の中で雪中泊を希望する団体がある以上、雪洞づくりや雪中泊についての知識やノウハウを自然の家の職員間で引き継いでいく必要がある。また、大学生や学校教員などを対象に雪洞で泊まるという貴重な体験をする機会を何かしらの形で残していきたい。</li> </ul>